J

CD／MP3／WMAを聞く

各部の名称とはたらき

タッチパネル部について

CDソースTOP画面(詳細表示時(例))



MP3モードTOP画面(詳細表示時(例))



① Sound ボタン
イコライザー画面を表示します。
☞ I-23

② ☰ ボタン(トラックリスト)
トラックリストを表示し、トラックの選択が可能です。☞ J-5

③ ♪ ボタン(詳細情報)
トラックの詳細情報を表示します。
☞ J-3

④ 再生モード ボタン
リピート/ランダム/スキャン再生の選択をすることができます。
☞ I-11

⑤ Quick ボタン
Quick MENUを使用することができます。
☞ B-18

⑥ フォルダ⊖ / フォルダ⊕ ボタン
前または次のフォルダを選択します。
☞ J-4

アドバイス

- 1枚のディスクに音楽トラックとMP3/WMAデータが混在する場合はMP3/WMAデータは再生しません。
- パネル部に配置されているボタンは ☞ B-2を参照ください。

表示部(再生画面)について

CDソースTOP画面
詳細表示時(例)



MP3モードTOP画面
詳細表示時(例)



①再生状態表示

▶：通常再生　▶▶：早送り　◀◀：早戻し

②再生時間表示

③アーティスト名表示／アルバム名表示＊1 アーティスト名表示／アルバム名表示／フォルダ名表示＊2

＊1印…CDソースの場合
＊2印…MP3／WMAモードの場合

④トラック名表示

トラック名がない場合は、ファイル名を表示します。(MP3／WMAの場合)

⑤イコライザー表示

イコライザー設定中に表示されます。☞I-23

⑥サラウンド表示

選択中のサラウンドを表示します。☞I-26

⑦リピート／ランダム／スキャン再生時に表示

表示内容はI-11を参照ください。

⑧再生モード表示

MP3 …MP3モード／ WMA …WMAモード

アドバイス

- アーティスト名／トラック名／アルバム名の最大表示文字数は全角32(半角64)文字です。＊1
  (本機は漢字・ひらがな・カタカナ対応しています。)
- ファイル名／フォルダ名の最大表示文字数は全角32(半角32)文字です。＊2
  ※ファイルによっては最大文字数まで表示できない場合があります。
- タイトル名が表示しきれない場合、タイトル名をタッチしてスクロールさせ、続きを確認することができます。
  ※タイトル名が一巡します。また、スクロール中にタッチするとスクロールを止めます。
- アーティスト名／トラック名／アルバム名の表示が実際と異なって表示される場合があります。

J-4 好きなフォルダを選ぶ（MP3／WMAモードの場合）

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ⊖／フォルダ⊕をタッチする。



■ 前のフォルダに戻る場合

フォルダ⊖をタッチする。

■ 次のフォルダに進む場合

フォルダ⊕をタッチする。

好きなトラックを選ぶ(CD／MP3／WMAモードの場合)

トラックを一覧表示させ、再生させることができます。

1 をタッチする。

：トラックリストが表示されます。

※MP3／WMAモードの場合は、再生しているフォルダのファイル(曲)がトラックリストに表示されます。

CDソース TOP画面(詳細表示(例))



アドバイス

TOP画面は選択する ／ ♪ によって詳細表示／トラックリスト(ファイル)表示となります。

CDソース TOP画面(例)



詳細表示

タッチ

♪ タッチ

CDソース TOP画面(例)



トラックリスト表示

※すでにトラックリスト表示になっている場合は上記手順 **1** を省略することができます。

2 再生したいトラックをタッチする。

：選択したトラックが再生されます。

CDソース TOP画面(トラックリスト表示時(例))



アドバイス

- ⏮ ⏭ ／ ⏮ ⏭ を押してトラックを選択することもできます。☞ I-9
- トラックリストのとき、タイトル名が表示しきれない場合にリストをタッチするとタイトル名がスクロールされ、続きを確認することができます。
  ※タイトルスクロールと共にトラック選択となります。(スクロールは一巡すると止まります。)
  ※走行中はスクロールしません。
- CDソース時のトラックリストについて
  ・タイトル情報がない場合は、TRACK1、TRACK2、TRACK3……と表示されます。
  ・TOP画面を詳細表示に戻したい場合は ♪ をタッチしてください。(上記アドバイス参照)

J-6 MP3 ／ WMA ファイルについて

- **MP3とは？**

  MP3（MPEG Audio Layer 3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、CDデータに比べ最大約1/10のサイズに圧縮することができます。

  ・MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson.

- **WMAとは？**

  WMA（Windows Media^{TM} Audio）は米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。WMAデータは、Windows Media Playerを使用してエンコードしたWMAファイルを再生することができます。WMAは音声データをMP3よりも高い圧縮率（約2倍）で音楽ファイルを作成・保存することができます。さらにデジタルならではの高音質を得ることができます。

  DRM（デジタル著作権管理）には対応していません。
  Windows Media Audio Standardフォーマット以外のフォーマットには対応しておりません。

- **トラック名／アーティスト名／アルバム名表示について**

  曲のタイトル、アーティスト名などをID3タグ（MP3用）やWMAタグと呼ばれる付属文字情報を使って保存、表示させることができます。

- **CD-R ／ CD-RWについて**

  ・CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズがつくと再生できない場合や音飛びする場合があります。

  ・一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

  ※CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

- **MP3 ／ WMAファイルが収録されているディスクを挿入すると、最初にディスク内の全てのファイルをチェックします。CD-RWはディスクを挿入してから再生が始まるまで、通常のCDやCD-Rより時間がかかります。**

- **マルチセッションについて**

  マルチセッションに対応しており、MP3 ／ WMAファイルを追記したCD-R、CD-RWの再生が可能です。ただし、“Track at once”で書き込んだ場合、セッションクローズや追記禁止のファイナライズ処理をしてください。

アドバイス

- ディスク内のファイルをチェックしている間、音は出ません。
- ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3 ／ WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。
- 再生不可能なファイルがある場合、そのファイルはスキップします。（再生しません。）
- MP3以外のファイルに“MP3”の拡張子またはWMA以外のファイルに“WMA”の拡張子を付けると、MP3ファイル／WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカーを破損する場合があります。MP3 ／ WMAファイル以外に、“MP3”／“WMA”の拡張子を付けないでください。
  MP3 ／ WMA以外の形式のファイルは動作を保証しておりません。

● MP3／WMAの音楽ファイルはCD／SDソースで再生することができます。
（下記☆印参照）

● 音楽ファイルMP3/WMAの規格について

使用可能なメディア☆	CD-R、CD-RW	SDカード、SDHCカード
再生ソース☆	CDのMP3/WMAモード	SD
再生可能なMP3/WMAファイルの規格	・MP3･･･MPEG Audio Layer 3 ・WMA･･･Windows Media Audio ※m3u ／ MP3i フォーマット／ MP3 PROフォーマット／ディエンファシスには対応していません。 ※WMA9 Professional／WMA9 Losslessには対応していません。 ※2チャンネル以上のチャンネルを持つ音楽データは再生できません。	
再生可能なMP3/WMAファイルの拡張子	MP3、mp3、WMA、wma（大文字、小文字どちらでも使用可能）	
使用可能なメディアフォーマット	拡張フォーマットを除いたISO9660レベル1およびレベル2 ※パケットライトには対応していません。	FAT16／FAT32
最大フォルダ名／ファイル名文字数	全角32／半角32文字	全角32／半角64文字
フォルダ名／ファイル名使用可能文字	A～Z(全角／半角)、0～9(全角／半角)、_(アンダースコア)、全角漢字(JIS第一水準)、ひらがな、カタカナ(全角／半角)	
最大フォルダ階層	8階層	
1フォルダ内の最大ファイル数	255(ファイル+フォルダ数：ルートフォルダ含む)	
1メディア内の最大ファイル数	999	10,000
最大フォルダ数	100	400
表示可能なID3タグ／WMAタグ	トラック名／アーティスト名／アルバム名	トラック名／アーティスト名／アルバム名／ジャンル名
ID3タグ表示可能文字数	Ver 1.0/1.1：全角15/半角30文字 Ver 2.2/2.3：全角32/半角64文字	
	※ID3タグバージョン1、バージョン2が混在するMP3ファイルの場合、バージョン2のタグを優先します。	
WMAタグ表示可能文字数	全角32/半角32文字	全角32/半角64文字
ID3タグ／WMAタグ推奨文字コード	シフトJIS	
ジャケット写真	非対応	対応*

※著作権保護されたWMAは再生できません。
＊印…MP3／WMAファイルのジャケット写真表示は、☞ L-10 ＊印を参照してください。

MP3／WMA ファイルについて

● 再生可能なサンプリング周波数、ビットレートについて

MP3

	MPEG1	MPEG2
サンプリング周波数(kHz)		
16.000	–	○
22.050	–	○
24.000	–	○
32.000	○	–
44.100	○	–
48.000	○	–
ビットレート(kbps)		
8	–	○
16	–	○
24	–	○
32	○	○
40	○	○
48	○	○
56	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
112	○	○
128	○	○
144	–	○
160	○	○
192	○	–
224	○	–
256	○	–
320	○	–
VBR	○	○

※ VBR：可変ビットレート

WMA

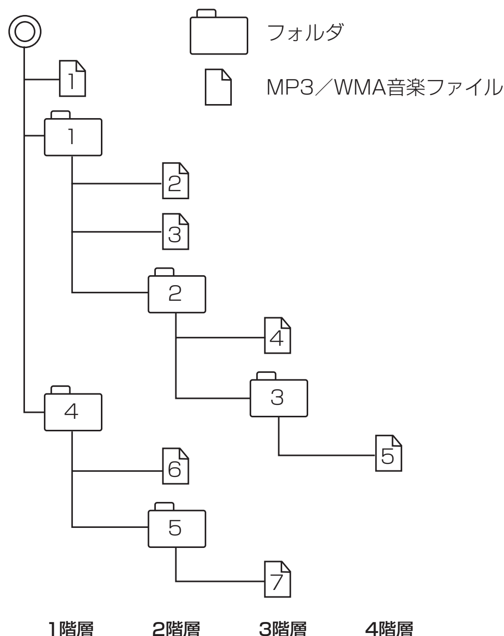
	WMA7	WMA9 standard
サンプリング周波数(kHz)		
32.000	○	○
44.100	○	○
48.000	−	○
ビットレート(kbps)		
48	○	○
64	○	○
80	○	○
96	○	○
128	○	○
160	○	○
192	○	○
256	−	○
320	−	○
VBR	−	○

※VBR：可変ビットレート

- 32 kHz以下のサンプリング周波数のMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 64 kbps以下のビットレートで記録されたMP3／WMAを再生させた場合、音質が十分に維持できないことがあります。
- 一般的にビットレートが高くなるほど音質は良くなります。一定の音質で音楽を楽しんでいただくためにはMP3では128 kbps、WMAではできるだけ高いビットレートで記録されたファイルの使用をおすすめします。
- VBR(可変ビットレート)に対応しています。
- フリーフォーマット・可逆圧縮フォーマットには対応していません。

MP3／WMAファイルについて

● **階層と再生順序について**



〔以下はCDのMP3／WMAのみ〕

● ルートフォルダは一つのフォルダとして数えられます。
● 本機では、フォルダの中にMP3およびWMAファイルがなくても、一つのフォルダとして数えます。選択した場合には、再生順で一番近いフォルダを検索して再生します。
● 同じ階層に複数のMP3／WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、ファイル名、フォルダ名の昇順に再生します。
● ライティングソフトがフォルダやファイルの位置を並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
● 再生の順序は、同一のディスクでも、使用する機器（プレーヤー）によって異なる場合があります。
● 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせによって正常に再生されなかったり、文字などが正しく表示されない場合があります。
● 通常は、1→2→3→4→5→6→7の順に再生します。
● 8階層までのMP3および、WMAファイルの再生に対応していますが、多くの階層またはファイルを多く持つディスクは再生が始まるまでに時間がかかります。ディスク作成時には階層を2つ以下にすることをおすすめします。

● **MP3／WMAファイルの作り方について**
MP3／WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむ他は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

・**インターネットの配信サイトより入手する場合**
インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々な音楽配信サイトがあります。音楽配信サイトで入手できる楽曲は著作権保護がかけてあるものがあります。著作権保護された楽曲は有料・無料にかかわらず本機では再生できません。

・**音楽CDをMP3またはWMAファイルに変換する場合**
パソコンと市販のMP3／WMAエンコーダ(変換)ソフトを用意します(インターネット上で無料配信されているエンコーダソフトもあります)。エンコーダソフトを使って音楽CDをMP3／WMA形式のファイルに変換することで12 cmの音楽CD1枚(最大74分収録／データ容量650 MB)が約65 MBのデータ量(約10分の1)になります。(詳しくはエンコーダソフトなどの説明をご参照ください。)本機はWMAのDRM(デジタル著作権管理)に対応していないため、Windows Media Playerを使用してWMAを作成するときは“取り込んだ音楽を保護する(Ver.によって表現が異なる場合もあります。)”の項目にチェックを付けないでください。

・**ディスクに書き込む場合**
MP3／WMAファイルをパソコンに接続されているドライブを介してディスクに書き込みます。この時、ライティングソフトで本機が対応している記録フォーマットに設定して書き込みます。

アドバイス

● ディスクの特性により読み取れない場合があります。
● MP3は市場にフリーウェアなど多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。
● ディスクにMP3／WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
● MP3／WMAファイルの作成の詳細はエンコーダソフトや使用するオーディオ機器の説明書を参照してください。
● MP3／WMAファイルの作成ソフトやテキスト編集ソフト、ライティングソフトやその設定によっては正規のフォーマットと異なるファイル、ディスクが作成される場合があり、テキスト情報表示や再生ができない場合があります。セッションクローズ、ファイナライズ処理を行なっていないディスクは再生できません。
● 極端にサイズの大きいファイル、極端にサイズの小さいファイルは正常に再生できないことがあります。